

●はじめに●

本書は、受験算数の文章題において出題率の高い問題を、単元別に反復演習できるようにになっています。

基礎的な「よく出る問題」をくり返し解くことによって、一行問題の得点力をアップさせることができます。

本書を十二分に活用して、入試に対応できる実践力を身につけてください。

なお、本書で弱点単元が見つかった場合は、弊社既刊の『受験算数 基礎トコトン』シリーズを使用して基礎を強化することができます。必要に応じて併用をおすすめします。


- 受験算数 基礎トコトン
- ① 割合
 - ② 速さ
 - ③ 場合の数
 - ④ 特殊算
 - ⑤ 平面図形
 - ⑥ 立体図形
 - ⑦ 数の性質・規則性

一行問題 徹底反復問題集 目次

第1課	約数・倍数	4
第2課	数の性質	10
第3課	整数に関する問題	16
第4課	速さの3用法	22
第5課	平均の速さ	26
第6課	旅人算	28
第7課	通過算	32
第8課	流水算	36
第9課	割合と比	40
第10課	還元算	50
第11課	倍数変化算	54
第12課	食塩水	56
第13課	売買損益	68
第14課	場合の数	76
第15課	規則性	86
第16課	植木算	90
第17課	平均算	94
第18課	差集め算	100
第19課	年令算	106
第20課	仕事算	110
第21課	時計算	114
第22課	縮尺	116
第23課	つるかめ・弁償算	118
第24課	消去算	120
第25課	集合に関する問題	122
第26課	日数算	126
	解答・解説	128

たしかなチカラを身につける 



受験算数
徹底反復 
問題集

第1課 約数・倍数（1）

（解答は P 128）

- ① 36 の約数は全部で 個あります。
- ② 2010 の約数は全部で 個です。
- ③ 1 から 20 までの整数の中で，約数を 4 つだけもつ数は 個あります。
- ④ 64 のすべての約数の和は です。
- ⑤ 126 と 315 の公約数の中で 2 番目に大きい数は です。
- ⑥ 2 けたの 9 の倍数全部の和は です。
- ⑦ 8 分おき，12 分おき，18 分おきに発車する 3 台のバスがあります。ある日の午前 8 時に 3 台のバスが同時に発車しました。この次に 3 台のバスが同時に発車するのは午前 時 分です。
- ⑧ 2 けたの整数が 2 つあり，最大公約数が 8 で，積が 1536 になります。この 2 つの整数は と です。
- ⑨ 縦 12 cm，横 30 cm の長方形の紙を，すきまなく並べて正方形をつくる時，1 番小さい正方形の 1 辺の長さは cm です。
- ⑩ たて 26 m，横 65 m の長方形の土地の周りに同じ間かくで木を植えます。木の本数を最も少なくするには，間かくを m にすればよいです。ただし，長方形の 4 つの角には必ず木を植えることにします。

第1課 約数・倍数（1）反復演習

（解答は P 128）

- ① 24 の約数は全部で 個あります。
- ② 1000 の約数は全部で 個です。
- ③ 1 から 50 までの整数の中で、約数を 3 つだけもつ数は 個あります。
- ④ 56 のすべての約数の和は です。
- ⑤ 120 と 300 の公約数の中で 2 番目に大きい数は です。
- ⑥ 2 けたの 7 の倍数全部の和は です。
- ⑦ 8 分おき、10 分おき、15 分おきに発車する 3 台のバスがあります。ある日の午前 9 時 20 分に 3 台のバスが同時に発車しました。この次に 3 台のバスが同時に発車するのは午前 時 分です。
- ⑧ 2 けたの整数が 2 つあり、最大公約数が 18 で、積が 1944 になります。この 2 つの整数は と です。
- ⑨ 縦 10 cm、横 18 cm の長方形の紙を、すきまなく並べて正方形をつくる時、1 番小さい正方形の 1 辺の長さは cm です。
- ⑩ たて 33m、横 55m の長方形の土地の周りに同じ間かくで木を植えます。木の本数を最も少なくするには、間かくを m にすればよいです。ただし、長方形の 4 つの角には必ず木を植えることにします。

第1課 約数・倍数（2）

（解答は P128）

- ① 2つの分数 $6\frac{5}{12}$ と $3\frac{1}{18}$ に、なるべく小さい分数をかけてどちらも整数にするとき、その分数は、です。
- ② $4\frac{2}{3}$, $8\frac{3}{4}$, $8\frac{1}{6}$ のそれぞれに同じ分数をかけると、答えはどれも1より大きい整数になります。かける分数の中で、一番小さい分数はです。
- ③ $\frac{19}{42}$ で割っても、 $\frac{4}{63}$ で割っても、答えが整数になるような0より大きい分数の中で、最も小さい分数はです。
- ④ $\frac{3}{8}$ で割っても、 $\frac{5}{12}$ で割っても答えが整数になる分数のうち、一番小さい分数はです。
- ⑤ $\frac{9}{40}$ と $\frac{15}{28}$ を同じ整数で割ると、どちらも分子が1になります。このような整数のうち、3けたの整数は全部で個あります。
- ⑥ T学園の畑で、ジャガイモ156個とトウモロコシ60本がとれました。できるだけ多くの子供にそれぞれ同じ数だけ余りが出ないように配るとすると、人の子供に配ることができます。
- ⑦ 52枚のカードを何人かの人に配ると、どの人も6枚または7枚のカードを持ちます。6枚のカードを持つ人は人です。
- ⑧ 何人かの子どもがいます。りんご60個を全員に同じ数ずつできるだけ多く配ったところ、6個余りました。同じように、みかんを120個、かき75個をできるだけ多く配ったところ、みかんは12個、かきは3個余りました。子供の人数は人です。

第1課 約数・倍数（2）反復演習

（解答はP129）

- ① 2つの分数 $4\frac{3}{8}$ と $4\frac{1}{12}$ に、なるべく小さい分数をかけてどちらも整数にするとき、その分数は、 です。
- ② $2\frac{1}{2}$ 、 $3\frac{1}{3}$ 、 $3\frac{3}{4}$ のそれぞれに同じ分数をかけると、答えはどれも1より大きい整数になります。かける分数の中で、一番小さい分数は です。
- ③ $\frac{14}{75}$ で割っても、 $\frac{21}{50}$ で割っても、答えが整数になるような0より大きい分数の中で、最も小さい分数は です。
- ④ $2\frac{1}{4}$ で割っても、 $1\frac{1}{14}$ で割っても答えが整数になる分数のうち、一番小さい分数は です。
- ⑤ $\frac{9}{10}$ と $\frac{12}{13}$ を同じ整数で割ると、どちらも分子が1になります。このような整数のうち、3けたの整数は全部で 個あります。
- ⑥ T学園の畑で、ジャガイモ117個とトウモロコシ65本がとれました。できるだけ多くの子供にそれぞれ同じ数だけ余りが出ないように配るとすると、 人の子供に配ることができます。
- ⑦ 50枚のカードを何人かの人に配ると、どの人も5枚または6枚のカードを持ちます。5枚のカードを持つ人は 人です。
- ⑧ 何人かの子供がいます。りんご120個を全員に同じ数ずつできるだけ多く配ったところ、8個余りました。同じように、みかんを70個、かき50個をできるだけ多く配ったところ、みかんは6個、かきは2個余りました。子供の人数は 人です。

第1課 約数・倍数（3）

（解答はP129）

- ① 3つの数 343, 127, 259 をそれぞれ同じ数 で割ると、余りがすべて7となります。
- ② 137, 194, 289 の3つの数を同じ数で割ると、余りは3つとも等しくなります。この割る同じ数は です。
- ③ 63, 94, 156 の3つの数を で割ったら、余りは同じになります。
- ④ 3つの数 1277, 1550, 2278 をある整数で割ると、余りはすべて同じになります。このような整数のうち最も大きいものは です。
- ⑤ 394 をわると34余り, 547 をわると43余る数のうちで、最も大きい整数は です。
- ⑥ A町とB町で同時に花火の打ち上げを開始しました。A町では100発の花火を25秒おきに、B町では70発の花火を35秒おきに打ち上げました。A町とB町で同時に花火が上がった回数は 回です。
- ⑦ 3つの整数 n , 12, 30 の最大公約数は6で、最小公倍数は420です。このような整数 n のうち最も小さい数は です。
- ⑧ 縦が72 cm, 横が84 cmの長方形の板の上に、大きさが同じ正方形のタイルをすきまなく並べます。タイルの枚数をなるべく少なくするには、タイルは 枚必要です。

第1課 約数・倍数（3）反復演習

（解答は P 129）

- ① 3つの数 287, 175, 217 をそれぞれ同じ数 で割ると、余りがすべて7となります。
- ② 50, 115, 167 の3つの数を同じ数で割ると、余りは3つとも等しくなります。
この割る同じ数は です。
- ③ 61, 95, 146 の3つの数を で割ったら、余りは同じになります。
- ④ 3つの数 1000, 1060, 1144 をある整数で割ると、余りはすべて同じになります。
このような整数のうちで最も大きいものは です。
- ⑤ 355 をわると 35 余り, 490 をわると 42 余る数のうちで、最も大きい整数は です。
- ⑥ A町とB町で同時に花火の打ち上げを開始しました。A町では 80 発の花火を 24 秒おきに、B町では 60 発の花火を 36 秒おきに打ち上げました。A町とB町で同時に花火が上がった回数は 回です。
- ⑦ 3つの整数 n , 15, 40 の最大公約数は 5 で、最小公倍数は 1320 です。このような整数 n のうち最も小さい数は です。
- ⑧ 縦が 64 cm, 横が 96 cm の長方形の板の上に、大きさが同じ正方形のタイルをすきまなく並べます。タイルの枚数をなるべく少なくするには、タイルは 枚必要です。